授業科目	＊保健福祉学入門					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	伊藤　直子、吉原　悦子、前田　由紀子、通山　久仁子、中川　美幸、渡邊　和美、浜谷　小百合						
授業概要	保健福祉学は人々の健康と福祉（幸福）に貢献することを探求する研究の営みであり、基礎から実践まで幅広い課題に取り組んでいる。この営みは看護、福祉、栄養などさまざまな専門家が協力し合うことで発展してきた。保健福祉学部に所属する学生がめざす看護、福祉、栄養の専門職も、現場においてはお互いに協力し合うこと、多職種協働が求められている。これを実践するには、自らの専門性を高めるだけでなく、協働する他職種への理解と協力し合う力が求められる。 本科目は看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。						
授業形態	講義			授業方法	講義		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．保健福祉学分野における社会のニーズを捉えることができる。　(DP1-1) 2．看護、福祉、栄養の各々の専門領域の役割について理解できる。(DP3-1) 3．多職種協働の必要性を説明できる。（DP３－１） 4．保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる。(DP4-1) ・保健福祉学分野で学ぶことの意義を説明できる。 ・保健福祉学分野における社会的ニーズを説明できる。 ・自らの学科で学ぶ専門性と、他学科との関連性を説明できる。 ・多職種協働で取り組む意義が説明できる。
理想的レベル	標準的レベルに加え、保健福祉学分野における社会的ニーズを多角的に捉え、専門領域を超え、学ぶことの意義を説明することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	40%	単元毎に授業参加及び理解状況を確認します

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU10401J WE10401J NT10401J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
復習：当該部分の復習	4

授業計画	
第１回	保健福祉学分野で学ぶ意義と課題（担当：伊藤）
第２回	看護の専門領域における多職種協働（担当：吉原）
第３回	看護の専門領域を探求するとは（担当：前田由）
第４回	福祉の専門領域における多職種協働（担当：中川）
第５回	福祉の専門領域を探求するとは（担当：通山）
第６回	栄養の専門領域における多職種協働（担当：渡邉）
第７回	栄養の専門領域を探求するとは（担当：浜谷）
第８回	１回から７回の講義を通し、専門家として社会に果たすべき役割について解説する。その後、試験を実施する。（担当：伊藤）
テキスト	指定なし。 講義によってプリント等の配付があります。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に講師の先生から紹介があります。
課題に対するフィードバックの方法	単元毎に担当者が疑問に答えます。
学生へのメッセージ・コメント	静かに傾聴する力。 話を要約する力。 ・保健福祉学部合同の授業です。学科の枠を越えて学びます。 ・講師の先生方の都合で、講義日が前後する可能性もありますので、掲示などにご注意下さい。 ・講義で聞いた内容について、図書館の書籍やネットで検索し、理解を深めて下さい。 ・講師の先生に感想や質問を直接に訴えることも有意義と思います。 ・毎回、小レポートの提出をもって出席とします。 ・積極的に取り組まれることを期待します。